

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 飽和硝酸カリウム (KNO₃) 溶液
パーツNo. : HSG370202

会社情報

供給社名 : 株式会社 HIRANUMA
住 所 : 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町 1739
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : (0120)47-6411 FAX 番号 : (029)240-0381

製造社名 : 株式会社 HIRANUMA
住 所 : 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町 1739

推奨用途 : 試験研究用
使用上の制限 : 推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学危険性
酸化性液体 : 区分 3

健康有害性
生殖毒性 : 区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
: 区分 1 (血液)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
: 区分 1 (血液)

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 火災助長のおそれ：酸化性物質
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
血液の障害
長期または反復暴露による血液障害

注意書き

安全対策 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけるこ

と。禁煙。
衣類及び可燃物から遠ざけること。
粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置：暴露した場合：医師の処置を受ける。
気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
保管：施錠して保管する。
廃棄：内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

：混合物

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
硝酸カリウム	26	KNO ₃	1-449	既存化学物質	7757-79-1
水	74	H ₂ O	-	-	7732-18-5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合：直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに水を飲ませる。
直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護

：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷：経口摂取すると、メトヘモグロビンを形成し、血圧低下、めまい、頭痛などを起こすことがある。

5. 火災時の措置

消火剤：この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤
：特になし。

火災危険性：可燃性材料と接触すると火災を起すことがある。

- 消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

- : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め、浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏洩した液は水で希釈して布、紙などで拭き取り、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 有機物、可燃物と接触させない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 皮膚に付れたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

- : 酸化性物質のため、有機物などと接触しないように取扱う。

保管

- 適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
可燃物と隔離して貯蔵する。

安全な容器包装材料

- : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
産衛学会 許容濃度	設定されていない
ACGIH TWA	設定されていない

- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

：保護衣（長袖作業衣）、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：液体
色	：無色
臭い	：無臭
pH	：中性
融点	：データなし
沸点	：データなし
引火点	：データなし
自然発火点	：データなし
分解温度	：データなし
可燃性	：データなし
蒸気圧	：データなし
相対密度	：データなし
密度	：1.16 g/cm ³ (25 °C)
相対ガス密度	：データなし
溶解度	：水：自由に混合
n-オクタノール/水分配係数(log Pow)	：データなし
爆発限界 (vol %)	：データなし
動粘性率：	：データなし
粒子特性	：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：酸化性を有する。
化学的安定性	：通常条件で安定である。
危険有害反応可能性	：還元剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	：日光、熱
混触危険物質	：還元性物質
危険有害な分解生成物	：窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：区分に該当しない （硝酸カリウムとして） ラット LD50=3750 mg/kg
----------	---

急性毒性（経皮）	：分類できない （硝酸カリウムとして） ラット LD50>5000 mg/kg
急性毒性（吸入）	：区分に該当しない（気体） 分類できない（蒸気） 分類できない（粉じん、ミスト）
皮膚腐食性／刺激性	：分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：分類できない。
呼吸器感作性	：分類できない
皮膚感作性	：分類できない
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：分類できない
生殖毒性	：生殖機能または胎児への悪影響のおそれの疑い(区分2) 親動物での一般毒性に関する記述がないが、EHC 5、IUCLID およびHSDB のモルモットを用いた飲水投与試験で流産や胎児死亡の増加が認められたとの記述、ならびにIUCLID およびHSDB のラットを用いた混餌投与による二世世代繁殖試験で子動物に奇形が認められたとの記述から、区分2 とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：臓器の障害（血液）(区分1)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（血液） (区分1)
誤えん有害性	：分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

：区分に該当しない
（硝酸カリウムとして）
甲殻類（オオミジンコ） LC50=490mg/L/48h

水生環境有害性 長期（慢性）

：区分に該当しない

残留性・分解性

追加情報なし

生体蓄積性

追加情報なし

土壤中の移動性

追加情報なし

オゾン層への有害性

分類できない

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 多量の水で希釈し、pHを中性に調整した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送(IMDG)

- 国連番号 (IMDG) : 非該当
- 正式品名 (IMDG) : 非該当
- 容器等級(IMDG) : 非該当
- 輸送危険物分類 (IMDG)
: 非該当

航空輸送(IATA)

- 国連番号 (IATA) : 非該当
- 正式品名 (IATA) : 非該当
- 容器等級 (IATA) : 非該当
- 輸送危険物分類 (IATA)
: 非該当

- 海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

- 消防法 : 非該当
- 道路法 : 非該当
- 船舶安全法 : 非該当
- 航空法 : 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

- : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法	：非該当
化学物質管理促進法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2）（2025 年 4 月 1 日以降） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2）（2025 年 4 月 1 日以降） 硝酸カリウム
水質汚濁防止法	：有害物質（法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条）

16. その他の情報

参考文献および参照ホームページ等

1) NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

＊この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253 に基づいて作成しております。